

かみくげ 恐竜の里新聞

平成22年11月25日

発行…上久下恐竜の里づくり協議会

第28号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

第5次発掘調査再開される

丹波竜化石発掘第5次調査が11月10日、多くのマスコミ関係者が集まる中で再開されました。今回で5回目となる調査は川側に幅2.5メートル、長さ8メートル（20平方メートル）を調査します。4次発掘調査終盤で姿を見せてそのまま残っている胴体部の背骨（胸椎）の取り出しから始め、まだ見つからない部分骨（首や脚の骨）、カエルや小動物の貴重な化石の発見を目指します。ボランティアが参加しての手掘調査は12月10日からはじまり来年2月中旬まで続きます。

山南化石工房
リニューアルオープン間近

山南支所隣接の新丹波竜化石工房「ちーたんの館」が間もなく完成し、12月4日午前10時からオープン式典が開かれます。新化石工房は従来の山南住民センター内施設の約5倍の広さで、クリーニング作業場の他、研究員室、展示場、セミナー室、売店を設けており7日以降一般に公開（有料）されます。

新施設完成を記念して、同日午後には「地才地創シンポジウム」が開かれ岩槻邦男氏（入博館長）や枝廣淳子氏（環境ジャーナリスト）の基調トークやモンゴル科学アカデミー古生物学研究員の特別講演、パネルディスカッションなどが予定されています。

また、5日にはこどもたちを対象とした「子ども夢フォーラム」も開かれ、数々のイベントが企画されています。

上滝の発掘現場周辺と共に新化石工房が丹波竜の里への集客と地域活性化、経済効果に貢献することが期待されます。

なお、新工房の愛称「ちーたんの館」は全国一般公募作品190点の中から上久下の中島忠雄さん（青田自治会）の作品が選ばれました。

ふるさと魅力発見ハイキング
町内より100人が参加

11月23日、丹波市観光協会が主催する「わが町ふるさと魅力発見ハイキング」に山南地内から100人の親子づれが参加しました。この催しは山南町内の魅力を再発見する目的で観光協会・山南支部が企画し、上久下地区がコースに選ばれました。

地域づくりセンターを出発して広田のつり橋を渡り、太田井堰から阿草橋を経由して旧発電所跡までを紅葉や川の景観、地層など地元ガイドの案内で2時間かけてのんびり散策しました。イベントに参加したこども達は溪谷にかかる広田のつり橋や河床から見る川の流れる雄大さに喜び、大人は山川の見える真つ盛りの紅葉を満喫していました。発電所跡を経由して元気村で解散した参加者は地元有志が店するトン汁、おにぎり、焼きそばなどで心地よい疲れを癒していました。元気村の目玉、恐竜焼きや発掘体験にもイベント参加者以外の一一般客と一緒に楽しんでいました。

「丹波竜物語」を合唱
上久下小学校

11月20日（土）毎年恒例の音楽会が全校児童83名と保護者、一般住民らが集まって小学校体育館で開かれました。

前半の部では低学年児童、後半の部では高学年児童による合唱が披露され、この合間には、大前幸美さん（上滝）のピアノ演奏にあわせて吉住直子さん（氷上町、ソプラノ歌手）が「赤とんぼ」や「こぶとり」など童謡歌を独唱したり、自身で作詞・作曲した「大好きちーたん」を参加者と一緒に合唱しました。

続いて児童全員で歌う「丹波竜物語」（曲…金子浩三、詩…村上茂）の大きな歌声が会場内に響き渡っていました。



- 12月の予定
- ◆12月4日 山南化石工房新装オープン式典 山南支所
 - ◆12月5日 恐竜・こども夢フォーラム 山南住民センター
 - ◆12月7日 老社会こどもしめ縄づくり教室 上久下小学校
 - ◆12月10日 5次発掘手掘り調査開始
 - ◆12月11日 里づくり協議会例会 30pm

私の上天下生活

「ターニングターニング」編 ⑤

藤本 良材さん
裕子さんご夫妻
(下滝)



3年前までは個人で仕事をされていましたが、今は同じ仕事で2時間ほどを掛けて通勤し、会社勤めをなさっているとのこと。

下滝に住まれるきっかけとなったのは、良材さんのお父さんが下滝地内に住む知人の紹介で、県道わきの茅葺きの古民家を別荘として借りていたため、家族でよく別荘を利用していたそうです。県道の拡幅によって民家が取り壊しとなり、代替地として紹介された別の土地に家を建てることになり、良材さんは自然とそこに住むことになったと話しておられます。

田舎の生活と都会の生活を比較しての感想を訪ねてみました。

「平日昼間はほとんど仕事で家を不在にしているので違いを気にすることはないが、特別に不自由、不便を感じることはありません」とのことでした。

奥さんの裕子さんもご主人同様にコピーライターで、今は近所の子どもたちの家庭教師をして頑張っておられます。家庭教師の子どもを通じて、また、小学校の保護者らを通じて付き合いの範囲を徐々に増やしておられるようです。

将来のことを伺うと、「元気でいるうちはいいが、年をとって買い物や病院へ一人で行けなくなったらどうなるかは少し不安です。ひよっとしたら、便利な都会へ移り住むようになるかもしれないですね」と笑っておられました。

(レポーター…SM)

地区文化祭開かれる

第36回上天下地区文化祭が11月3日、晴天のもと開かれました。例年の通り生花展、菊花展のほか陶芸や盆栽の展示や写真ほか個人の作品が数多く展示されました。

今年はじめて元氣村から参加した恐竜焼きや化石発掘体験コーナーも人気でした。

センター前庭では昨年までの踊りや琴の演奏にかわって春日町から初参加の近藤忠宏氏の「コンちゃんコンサート」の昭和歌謡曲には、参加者の多くが懐かしく、口ずさみながら聞き入っていました。

また、上滝自治会から特別出演の神楽舞も文化祭に華を添え、普段なかなか見る機会のないことどもたちから喝采を受けていました。



自治会レポート

健康ふれあい散策路の整備と植樹

(畑内自治会)

畑内自治会では今年度「健康とふれあい」をテーマに取り組んでいます。このたび、こころ豊かな交流促進パワーアップ事業の助成を受けて「畑内健康ふれあい散策路の整備と植樹」事業をみんなで汗を流しようやく完成させました。私たちの生活のよりどころとして里山に集い健康とふれあいの場として、また情報の発信や収集の場として幅広く活用し、みんなが健康で楽しく暮らせるようにしていきたいと思っています。

(レポーター…柳川 功)



敬老会で浪曲歌謡

(上滝自治会)

10月31日上滝敬老会に浪曲師の天光軒満月さんを招いて浪曲歌謡ショーがおこなわれ54人の会員、自治会員さんは歌と浪曲の魅力に聞き入り楽しいひと時をすごしました。

(レポーター…大前勝次)